

事業所名		放課後等デイサービス みかづき美園				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		10 月		1 日	
法人（事業所）理念		まんげつじゃなくても、いつも同じカタチや 輝き方じゃなくても、だいじょうぶ どんなみかづきも美しく輝いているように どのみかづきにもその良さがあるように それぞれの子どもが、その個性を光らせる ことができる、手助けの場所を目指して													
支援方針		2020年度より、小学校の学習指導要領にプログラミングが取り入れられました。プログラミングはパソコンスキルのみではなく、思考も重要とされています。 これからのコミュニケーションのあり方や働き方にも対応していけるようになることは、大きな自信に繋がります。 また、得意なことをともに見つけ、その輝きをのばすことで成功体験を重ねていきます。苦手なことばかりにアプローチして辛い思いをするよりも、肯定的に自ら対処していきたいと思 う動機付けが大切だと考えます。 主体的に挑戦する思いを支え、自己肯定感を育み、将来の自立した生活をイメージし、強みを磨くことができれば、結果としてソーシャルスキルの底上げに繋がるものと考えます。 そして、その子が将来、自分を支える思い出を共有する場所として、私たちはそこにあり続けたいと思います。													
営業時間		10 時		0 分から		19 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・規則正しい生活を過ごすことができる ・衣服をたたむ/靴紐を結がことができる ・適切な余暇活動を通うことができる													
	運動・感覚	・体の動かし方を知る ・体を動かすことでの発散の効果を体感する ・自分の感覚に合わせた力のコントロールをする													
	認知・行動	・自己の特性に合った対処方法を知る ・自分らしくあることに自信を持つ ・自己を客観視できる感覚を養う ・SSTや小集団活動を通してルールやマナーを学ぶ													
	言語 コミュニケーション	・語彙や表現方法の拡大 ・タイピングや音声で文章を作ることができる ・代替えを用いたコミュニケーション手段の獲得 ・必要な児童に対し個別支援の実施（構音、発声・発話練習）													
	人間関係 社会性	・スケジュール管理ができる ・時間を守る意識が持てる ・お金の概念・使い方を学ぶ ・必要な情報を調べることができる ・小集団活動を取り入れ、他者との関りを学ぶ													
家族支援		・保育士、中学校教諭、社会福祉士、介護福祉士、公認心理士、理学療法士、言語聴覚士など子どもたちを幅広い視点でアセスメントし、統一したアプ ローチ方法を考えていく。 ・3か月に1度の保護者会の開催 ・定期的な個別面談やカウンセリングの実施 ・連絡帳を使い、その日の児童の様子や取り組んだことなどを伝えられるよう に努める。						移行支援		・必要に応じて社会資源の提案を行う ・進路情報提供の他、可能な範囲で退所前に進路先へ伺い、支援情報の共 有等を行うように努める。 ・必要に応じて、学校や他事業所での様子を見学したり、支援方針につい て、情報共有に努める。					
地域支援・地域連携		・地域の方々にとどのような場所なのかを知っていただく機会として地域開放、 他事業所に専門的な視点を伝達していくための講師派遣、介護予防を行う近隣 住民向けの研修会を開催するなど、児童の領域にとどまらず、地域とのつなが りを重視していく。 ・社会福祉士の現場実習の受け入れ、保育士養成の専門学校での講師を務めたり、 就労支援事業所の職場実習、他デイサービスからの業務見学など後進育成 や事業所間のつながりも広げていく。						職員の質の向上		・他事業所を交えた事例検討・研修会の実施 ・1 か月に1 度の会議の実施 ・年間計画に沿った研修会の実施 ・専門職の講師派遣 ・広報活動 ・BSC（バランス・スコアカード）を使用し、企業・個人の目標と課題を 明確にし自己評価とフィードバックを行うことで質や意欲の向上につなが るよう努める。					
主な行事等		季節行事 ・入学・進級祝い 外出イベント ・豊平川さけ科学館 オリジナルイベント ・みかづき納涼祭 ・子どもの日 ・母の日 ・夏祭り ・ハロウィン ・クリスマス ・お正月 ・節分 ・ひな祭り ・卒業祝い ・オリンピックミュージアム ・サンピアザ水族館 ・下水道科学館 ・北海道博物館 ・円山動物園 ・水道記念館 ・北海道神宮 ・みかづきフェス													